

2026 年 7 月 29 日

各 位

会社名	株式会社エクサウィザーズ	
代表者名	代表取締役社長 CEO	春田 真
	(コード番号：4259 東証グロース)	
問合せ先	コーポレート統括本部長 CFO	前川 智明

株式会社 ExaSecurity（子会社）の設立に関するお知らせ

当社は、2026 年 7 月 29 日開催の取締役会において、以下のとおり、株式会社 ExaSecurity（本子会社）を設立することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 本子会社設立の理由

当社グループは、2,500 社を超える企業・行政機関のお客様に AI プロダクトおよび AI サービスを提供し、業務の効率化や人手不足への対応を支援しております。生成 AI や AI エージェントを日常業務に活用する組織が増える中、従来型のセキュリティサービスでは十分に対応できない新たなセキュリティリスクが生じております。具体的には、プロンプトインジェクション、AI エージェントの挙動の改ざん、AI モデルを経由した機密情報の漏えい、AI サプライチェーンの脆弱性などが挙げられます。AI の普及に伴いセキュリティ投資は拡大している一方で、AI システムに深い専門性を持つセキュリティ事業者は少なく、AI を安全に活用することは、AI を利用する企業にとって重要な経営課題となっております。

AI セキュリティを取り巻く政策・規制の整備も進んでおります。2026 年には、重要インフラ事業者のサイバー防御義務を強化する新たな法制度が施行される予定であり^{*1}、EU AI 規則（EU AI Act）をはじめとする国際的なルールの整備が進むとともに、OWASP LLM Top 10 等のガイドラインが参照基準として普及しつつあります。国内サイバーセキュリティ市場は 2025 年～2026 年で約 2 兆円規模と推計されており^{*2}、なかでも AI エージェントがハードウェアにもソフトウェアにも搭載され、かつ運用にも AI エージェントが組み込まれつつあることから、AI によるセキュリティ分野の運用自動化は進むと見込まれております。

こうした背景を踏まえ、2026 年 5 月 12 日に公表した「3P × Frontier」戦略の一環として、当社は、AI 時代のセキュリティサービスを提供するため、本子会社を設立することといたしました。本子会社は、当社グループが AI システムを実運用規模で構築・運用する中で培った実践的な知見を活用してまいります。提供するサービスは 2 つの領域で構成されます。1 つは、AI レッドチーミング（攻撃者の視点から AI システムの脆弱性を検証するテスト）、セキュリティ診断、AI ガバナンス・コンプライアンス支援を通じてお客様の AI 環境のセキュリティを担保するサービス、もう 1 つは、ペネトレーションテストをはじめとする従来型のセキュリティサービスに AI を活用し、より高速かつ広範に AI によるセキュリティを強化するサービスです。また、本子会社は当社グループ自身の AI プロダクトのセキュリティ強化にも寄与し、グループ全体におけるお客様からの信頼向上につながることを期待されます。今後は、本子会社を当社グループのセキュリティ基盤へと発展

させるとともに、中期的には海外のお客様へのサービス提供も目指してまいります。

出典：*1 内閣官房国家サイバー統括室、「サイバー対処能力強化法及び同整備法（令和7年5月16日成立、同年5月23日公布）」（https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/cyber_anzen_hosyo_torikumi/index.html）

*2 株式会社矢野経済研究所 プレスリリース（2026年6月3日発表）（https://www.yano.co.jp/press-release/show/press_id/4130）

2. 本子会社の事業内容

本子会社は、2つのサービス領域を展開いたします。1つは、AI レッドチーミング（攻撃者の視点からAI システムの脆弱性を検証するテスト）、セキュリティ診断、AI ガバナンス・コンプライアンスに関するコンサルティング等の支援を通じてお客様のAI システムを保護するサービスであり、もう1つは、ペネトレーションテストをはじめとする従来型のセキュリティサービスにAI を活用し、より高速かつ広範に提供するサービスならびにAI セキュリティ関連製品の販売・導入支援です。

本子会社は、以下の3つの戦略を中心として事業を進めてまいります。

（1）差別化されたAI セキュリティ体制の構築

AI セキュリティの実務を担えるシニア専門人材によるチーム体制、再現性のあるサービス提供手法、そして当社グループがAI 事業で培ってきたブランドを競争力の源泉としてまいります。サービス事業においては人材そのものが価値の中核であることから、シニア専門人材の採用と定着を最優先の戦略課題として取り組みます。

（2）グループのセキュリティ基盤としての役割

本子会社は、当社グループ自身のAI プロダクトのセキュリティ保証を担うとともに、官公庁・金融機関をはじめとする規制の厳しい業界において、グループ各社が事業を展開する際の信頼の証としての役割を果たします。また、グループ各社のプロダクトと連携したセキュリティサービスの提供や、グループの顧客基盤との相互送客を通じて、グループ全体の価値向上に貢献してまいります。

（3）個別案件から継続的なサービス・プロダクトへの発展

本子会社は、開業時においては、個別のプロジェクト単位でセキュリティサービスを提供いたします。一方でAI システムとそれを取り巻く脅威は絶えず変化し続けることから、これらのサービスはお客様を継続的に支援する形へと段階的に発展させてまいります。また、複数の案件を通じて特定された共通の課題は、標準化したうえでプロダクトとして提供することで、実績のある手法をより多くのお客様へ、より効率的にお届けしてまいります。

3. 設立する本子会社の概要

（1） 名称	株式会社 ExaSecurity
（2） 所在地	東京都港区芝浦4丁目2-8
（3） 代表者の役職・氏名	代表取締役 Lachlan Mitchell
（4） 事業内容	● AI レッドチーミング、セキュリティ診断、AI ガバナンス・コンプライアンス支援等のコンサルティングを通じた、お客様のAI 環境のセキュリティを担保するサービスの提供

	● ペネトレーションテストをはじめとする従来型のセキュリティサービスに AI を活用し、より高速かつ広範に AI によるセキュリティを強化するサービスの提供、ならびに AI セキュリティ関連製品の販売・代理店業務
(5) 資本金	3 億円（準備金を含む）
(6) 発行済株式数	100 株
(7) 決算期	3 月 31 日
(8) 大株主及び持株比率	株式会社エクサウィザーズ 100%

4. 日 程

(1) 取締役会決議日	2026 年 7 月 29 日
(2) 設立年月日	2026 年 10 月（予定）
(3) 事業開始期日	2026 年 10 月（予定）

5. 今後の業績見通し

本子会社は、設立と同時に当社の連結子会社となり、設立日の属する 2027 年 3 月期第 3 四半期より当社の連結業績に組み込まれる予定です。なお、本件が 2027 年 3 月期の通期連結業績に与える影響は軽微であり、次年度以降の影響についても現在精査中ですが、今後、開示すべき事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

以 上